

川崎のあゆみ

東海道かわさき宿交流館 3階展示室 掲載資料より

江戸時代からの日本に関する一般的な歴史と対比しながら、東海道川崎宿及び川崎に関連する歴史を年表にしています

【 東海道川崎宿及び川崎に関連する歴史 】		【 日本の歴史 】	
1597 (慶長2)年	小泉次太夫が二ヶ領用水開削工事のため測量を開始する	1600 (慶長5)年	関ヶ原の戦いが起こる
1600 (慶長5)年	六郷大橋がかけられる	1601 (慶長6)年	徳川家康が東海道の宿駅制度を整える(東海道の成立)
1601 (慶長6)年	小泉次大夫が武蔵国稲毛領・川崎領の代官に就任する	1603 (慶長8)年	徳川家康が征夷大将軍となり、江戸幕府を開く
		1604 (慶長9)年	街道に一里塚を築き、並木を植え、東海道が整備される
1608 (慶長13)年	小杉に御殿が仮造営される	1615 (元和元)年	大坂夏の陣が起こる(豊臣氏が滅亡する) 武家諸法度が制定される
1611 (慶長16)年	二ヶ領用水が竣工する		
1623 (元和9)年	川崎宿が宿場となる	1635 (寛永12)年	参勤交代が制度化される
1650 (慶安3)年	新川堀用水が開削される		
1669 (寛文9)年	溝口・二子村が矢倉沢往還の継立村となる		
1671 (寛文11)年	小杉村が中原往還の継立村となる		
1688 (貞享5)年	多摩川の大洪水により六郷大橋が流出、以後は渡船通行となる		
1702 (元禄15)年	赤穂浪士の大石内蔵助らが下平間村に滞在する		
1705 (宝永2)年	田中休愚が川崎宿本陣・名主・問屋役三役を兼務する		
1709 (宝永6)年	田中休愚により川崎宿が多摩川の渡船の請負を行うようになる	1716 (享保元)年	徳川吉宗が享保の改革を始める
1722 (享保7)年	田中休愚の「民間省要」が徳川吉宗に献上される		
1725 (享保10)年	田中休愚が多摩川の改修工事を行う		
1762 (宝暦12)年	池上幸豊が開発した土地が池上新田村となる	1787 (天明7)年	松平定信が寛政の改革を始める
1782 (天明2)年	浅井忠良が寺子屋玉淵堂(後の川崎小学校)を開く	1841 (天保12)年	水野忠邦が天保の改革を始める
1821 (文政4)年	溝口で二ヶ領用水をめぐる水騒動が起こる	1853 (嘉永6)年	ペリーが浦賀に来航する
		1854 (嘉永7)年	日米和親条約が締結される
1857 (安政4)年	アメリカ総領事ハリスが江戸へ行く途中で川崎宿の万年屋に宿泊し、川崎大師を訪れる	1858 (安政5)年	日米修好通商条約が締結される
		1859 (安政6)年	横浜が開港する
1863 (文久3)年	徳川家茂が上洛の途中で川崎宿本陣に宿泊する	1867 (慶応3)年	大政奉還
1868 (明治元)年	明治天皇の東京行幸で川崎宿を通過、船橋で多摩川を渡御する	1868 (慶応4)年	江戸が東京と改められる 明治に改元される
1871 (明治4)年	大師河原において海苔養殖が始まる	1871 (明治4)年	廃藩置県
1872 (明治5)年	新橋—横浜間に官設鉄道が開通し、川崎停車場(川崎駅)が置かれる	1872 (明治5)年	学制が公布され、義務教育の開始 宿駅制度が廃止される 新橋—横浜間に官設鉄道が開通する
1874 (明治7)年	八幡塚村(今の大田区)の鈴木左内が多摩川の六郷に左内橋をかける 大区小区制が施行され、川崎地域は4大区・21小区に改編される	1873 (明治6)年	徴兵令が施行される 地租改正が行われる
1878 (明治11)年	左内橋が流出する 郡区町村編制法が施行され、川崎地域は80町村に改編される		
1883 (明治16)年	六郷橋がかけられる	1885 (明治18)年	内閣制度が創設される
1889 (明治22)年	市制・町村制が施行され、川崎地域は1町14村に改編される	1890 (明治23)年	大日本帝国憲法が施行される
		1894 (明治27)年	日清戦争が始まる
1897 (明治30)年	石井泰助が川崎町長に就任する	1902 (明治35)年	日英同盟が締結される
1899 (明治32)年	大師電気鉄道(京急大師線)が六郷橋—大師間で開通する	1904 (明治37)年	日露戦争が始まる
1905 (明治38)年	京浜電気鉄道(京急本線)が品川—神奈川間で開通する		
1905 (明治39)年	横浜製糖(大日本明治製糖)が御幸村南河原に設立される		
1908 (明治41)年	東京電気(東芝)川崎工場が御幸村南河原で操業開始する		
1909 (明治42)年	日米蓄音機製造(日本コロムビア)川崎工場が川崎町久根崎に完成する		
1910 (明治43)年	多摩川の大洪水により六郷橋が流出する		
1912 (明治45)年	神奈川県と東京府の県境が多摩川に決まる	1912 (大正元)年	明治天皇が崩御し、大正に改元される
1912 (明治45)年	川崎町が「工場招致」を町是とする		
1913 (大正2)年	橋樹郡役所が川崎町砂子に移転する 浅野総一郎が鶴見川から扇町に至る埋立事業に着手する		
1914 (大正3)年	日本鋼管(JFEスチール)が田島村若尾新田で操業開始する 鈴木商店(味の素)川崎工場が川崎町で操業開始する 多摩川築堤を求めて「アミガサ事件」が起こる	1914 (大正3)年	第一次世界大戦が始まる
1916 (大正5)年	御幸村から中原村にかけて有吉堤ができる		
1921 (大正10)年	川崎町に上水道が初めてつくられる 川崎社会館(初の社会福祉施設)が川崎町堀之内に開館する	1920 (大正9)年	第1回国勢調査が実施される
1924 (大正13)年	川崎町・御幸村・大師町が合併し、市制が施行され、川崎市が誕生する 初代市長に石井泰助が就任する 大島自動車商会が設立され、川崎駅—大島四ツ角間でバスの営業を開始する	1923 (大正12)年	関東大震災が起こる
1925 (大正14)年	二子橋がかけられる 六郷橋がかけられ、第一京浜国道が開通する	1925 (大正14)年	ラジオ放送が開始される 治安維持法が施行される 普通選挙法が公布され、男子普通選挙が実現する
1926 (大正15)年	東京横浜電鉄(東急東横線)が丸子多摩川—神奈川間で開通する 鶴見臨港鉄道が弁天橋—浜川崎間で開通する 橋樹郡役所が廃止される	1926 (昭和元)年	大正天皇が崩御し、昭和に改元される

【 東海道川崎宿及び川崎に関連する歴史 】		【 日本の歴史 】	
1927 (昭和2)年	向ヶ丘遊園が開園する 南武鉄道が川崎—登戸間、矢向—川崎河岸間で開通する 田島町が市に編入される 小田原急行鉄道(小田急小田原線)が新宿—小田原間で開通する 玉川電気鉄道が玉川—溝の口間で開通する 扇町の埋立が完成する	1927 (昭和2)年	金融恐慌が始まる
1928 (昭和3)年	川崎河港水門が完成する 普通選挙法による初の市議会議員選挙が行われる	1928 (昭和3)年	初の普通選挙が実施される
1929 (昭和4)年	第2代市長に春藤嘉平が就任する 川崎市・中原町・日吉村が川崎都市計画区域として認可される 新鶴見操車場が完成する	1929 (昭和4)年	世界恐慌が始まる
1930 (昭和5)年	南武鉄道が川崎—立川間で開通する 富士瓦斯紡績川崎工場で労働争議により「煙突男事件」が起こる 鶴見臨港鉄道が扇町—鶴見間で開通する	1930 (昭和5)年	昭和恐慌が始まる
1931 (昭和6)年	第3代市長に百済文輔が就任する 瓦斯人道橋が完成する	1931 (昭和6)年	満州事変が起こる
1932 (昭和7)年	第4代市長に中屋重治が就任する	1932 (昭和7)年	満州国を建設する 五・一五事件が起こる
1933 (昭和8)年	中原町が市に編入される	1933 (昭和8)年	国際連盟を脱退する
1935 (昭和10)年	丸子橋がかけられる 第5代市長に芝辻一郎が就任する	1936 (昭和11)年	二・二六事件が起こる
1936 (昭和11)年	日本電気玉川向工場が下沼部で操業開始する	1937 (昭和12)年	日中戦争が始まる
1937 (昭和12)年	高津町・日吉村の一部が市に編入される 橋村が市に編入される	1938 (昭和13)年	国家総動員法が施行される
1938 (昭和13)年	市役所本庁舎が完成する 稲田町・生田村・宮前村・向丘村が市に編入される 富士通信機製造(富士通)が上小田中で操業開始する 川崎鶴見臨港バスが設立される	1939 (昭和14)年	国民徴用令が施行される 第二次世界大戦が始まる
1939 (昭和14)年	柿生村・岡上村が市に編入される 全国で初めて工業用水道が完成する 大師橋がかけられる	1940 (昭和15)年	日独伊三国同盟が締結される
1940 (昭和15)年	富士見公園が開園する 第6代市長に村井八郎が就任する 川崎商工会議所が設立される	1941 (昭和16)年	太平洋戦争が始まる
1941 (昭和16)年	現在の生田緑地が都市計画緑地として都市計画決定される 久地に円筒分水がつくられる 川崎区水江町、夜光の埋立が完成し、市に編入される		
1942 (昭和17)年	民間の金属特別回収が実施される		
1943 (昭和18)年	緑ヶ丘霊園が開設される		
1944 (昭和19)年	南武鉄道が国有化される 第7代市長に江辺清夫が就任する 学童集団疎開が始まる 市電が開業する 中央市場(南部市場)が開設される	1945 (昭和20)年	東京大空襲 アメリカ軍が沖縄本島に上陸する 広島・長崎に原子爆弾投下 ポツダム宣言を受諾する、終戦
1945 (昭和20)年	川崎大空襲により市街地が焼失する 川崎病院が開設される 川崎銀座が復興し、映画街ミスタウンに発展する	1947 (昭和22)年	日本国憲法が施行される
1946 (昭和21)年	准公選により第8代市長に金刺不二太郎が就任する 戦後第1回市議会が招集される		
1949 (昭和24)年	多摩川大橋(第二京浜国道)がかけられる 井田病院が開設される 川崎競輪場が開設される 川崎競馬場が開設される	1950 (昭和25)年	朝鮮戦争が始まる
1950 (昭和25)年	市営バスが浜町三丁目—新丸子駅前間で開業する	1951 (昭和26)年	サンフランシスコ平和条約が締結される 日米安全保障条約が締結される
1951 (昭和26)年	市営トロリーバスが川崎駅前—桜本間で開業する 市が川崎港の港湾管理者となる 川崎球場が完成する	1953 (昭和28)年	NHKがテレビ放送を開始する
1955 (昭和30)年	第二京浜国道が全線開通する 国民体育大会が神奈川県下で開催される	1956 (昭和31)年	日ソ共同宣言が締結される 国際連合に加盟する
1956 (昭和31)年	市民会館(市体育館)が開館する		
1957 (昭和32)年	市の人口が50万人を突破する		
1959 (昭和34)年	川崎駅ビルが全館完成する 少年の家(青少年の家)が開設される	1960 (昭和35)年	新日米安全保障条約が締結される
1960 (昭和35)年	臨海部に石油コンビナートが形成される 中原図書館が開館する		
1962 (昭和37)年	川崎駅前公共地下道が完成する		
1963 (昭和38)年	初の総合計画「川崎市総合計画書」が公表される 全市域が「ばい煙の排出の規制等に関する法律」の指定地域となる 末広・浮島町の埋立地が完成する(県営の川崎臨海工業地帯造成事業) 稲田図書館(多摩図書館)が開館する 等々力公園が開園する		
1964 (昭和39)年	よみうりランドが開園する 神奈川臨海鉄道が塩浜—水江町間、塩浜—千鳥町間、塩浜—浮島町間で開通する 市営千鳥町の埋立が完成する	1964 (昭和39)年	東海道新幹線が開通する 東京オリンピックが開催される

【 東海道川崎宿及び川崎に関連する歴史 】		【 日本の歴史 】	
1965 (昭和40)年	木更津との間にカーフェリーが開通する 高津図書館が開館する 第三京浜道路が開通する		
1966 (昭和41)年	東急田園都市線が溝の口から長津田まで延伸し、開通する 京浜急行川崎駅前の高架工事が完成する		
1967 (昭和42)年	産業文化会館(教育文化会館)が開館する 日本民家園が開園する 市営トロリーバスが廃止される 等々力緑地内に市営陸上競技場が完成する	1967 (昭和42)年	公害対策基本法が施行される
1968 (昭和43)年	東名高速道路が厚木―川崎間で開通し、川崎インターチェンジが開設される 鷺沼プールが開設される 首都高速道路横羽線が開通する	1968 (昭和43)年	小笠原諸島返還
1969 (昭和44)年	市電が廃止される		
1970 (昭和45)年	市内で初の光化学スモッグが発生する	1970 (昭和45)年	日本万国博覧会(大阪万博)が開催される 岡本太郎の「太陽の塔」が制作される
1971 (昭和46)年	日向(宮崎県)との間にカーフェリーが開通する 第9代市長に伊藤三郎が就任する 青少年科学館が開館する		
1972 (昭和47)年	政令指定都市となり、川崎・幸・中原・高津・多摩の5区が誕生する 公害監視センターが開設される 公害防止条例が施行される 多摩市民館が開館する 夢見ヶ崎動物公園が開園する	1972 (昭和47)年	札幌冬季オリンピックが開催される 沖縄返還 日中国交回復
1973 (昭和48)年	市の人口が100万人を超える	1973 (昭和48)年	変動相場制に移行する 第1次オイルショックが起こる
1974 (昭和49)年	自然環境の保全育成に関する条例が施行される 小田急多摩線が新百合ヶ丘―小田急永山間で開通する 中原市民館、高津館が開館する 公害補償協定が締結される	1974 (昭和49)年	国民総生産(GNP)が戦後初めてマイナス成長となる
1975 (昭和50)年	全国初の環境影響評価に関する条例が施行される ハヶ岳少年自然の家が開設される		
1978 (昭和53)年	東高根森林公園が開園する 第1回かわさき市民祭りが開催される		
1979 (昭和54)年	川崎市民プラザが開館する	1979 (昭和54)年	第2次オイルショックが起こる
1980 (昭和55)年	幸文化センター(幸市民館、幸図書館)が開館する 「地方の時代」映像祭が開催される		
1982 (昭和57)年	国や道路公団、企業に対し川崎公害訴訟が始まる 核兵器廃絶平和都市宣言 高津区から宮前区、多摩区から麻生区が分かれ7区制となる 宮前区役所庁舎、麻生区役所庁舎が完成する 中央卸売市場北部市場が開設される		
1983 (昭和58)年	「2001かわさきプラン」が策定される 総合自治会館が開館する		
1984 (昭和59)年	情報公開制度が実施される 公文書館が開館する		
1985 (昭和60)年	幸スポーツセンターが開館する 宮前文化センター(宮前市民館、宮前図書館)、麻生文化センター(麻生市民館、麻生図書館)が開館する		
1986 (昭和61)年	個人情報保護条例が施行される 川崎能楽堂が開設される 川崎地下街アゼリアがオープンする 麻生スポーツセンターが開館する		
1987 (昭和62)年	瀋秀園が開園する	1987 (昭和62)年	国鉄が分割民営化される
1988 (昭和63)年	ふれあい館が開館する 産業振興会館が開館する 市民ミュージアムが開館する		
1989 (平成元年)	かながわサイエンスパーク(KSP)がオープンする 第10代市長に高橋清が就任する	1989 (平成元年)	消費税3%が導入される
1990 (平成2)年	市営東扇島の埋立が完成する 中原区役所庁舎が完成する 中原会館(エポックなかはら)が開館する 青少年創作センターが開館する 川崎駅東口東田町再開発ビル・パレードが完成し、川崎区役所等が移転する 市民オンブズマン制度が発足する JR南武線武蔵小杉―武蔵溝ノ口間の高架工事が完成する		
1991 (平成3)年	黒川青少年野外活動センターが開館する	1991 (平成3)年	バブル経済が崩壊する
1992 (平成4)年	港湾振興会館(川崎マリエン)が開館する 平和館が開館する 環境基本条例が施行される 大山街道ふるさと館が開館する 高津区役所庁舎が完成する		
1993 (平成5)年	「川崎新時代2010プラン」が策定される 川崎ハローブリッジが開通する		
1994 (平成6)年	国際交流センターが開設される		
1995 (平成7)年	川崎駅北口再開発ビル・タワー・リパークが完成し、川崎図書館、アートガーデンかわさきが開館する	1995 (平成7)年	阪神・淡路大震災が起こる

【 東海道川崎宿及び川崎に関連する歴史 】	【 日本の歴史 】
<p>1996（平成8）年 とどろきアリーナが開設される 廃棄物の鉄道輸送が開始される 生活文化会館（てくのかわさき）が開館する 市職員採用試験の「国籍条項」が撤廃される かわさき市民放送が開局する</p> <p>1997（平成9）年 外国人市民代表者会議が開始される 多摩区役所総合庁舎（多摩区役所、多摩市民館、多摩図書館）が完成する 川崎臨海部全体が国内初のエコタウン地域の認定を受ける 高津スポーツセンターが開館する 溝口駅北口再開発ビル・ノクティ（高津市民館含む）がオープンする 東京湾アクアラインが開通する</p> <p>1998（平成10）年 福祉のまちづくり条例が施行される かわさきファズ物流センターが開業する 神奈川「ゆめ国体」が開催される</p> <p>1999（平成11）年 男女共同参画センター（すくらむ21）が開設される 岡本太郎美術館が開館する</p> <p>2000（平成12）年 川崎球場が半世紀の幕を閉じる K²（ケイスクエア）タウンキャンパスが開設される 東急目黒線が武蔵小杉—目黒間で開通する</p> <p>2001（平成13）年 子どもの権利条例が施行される 男女平等かわさき条例が施行される 首都高速湾岸線が全線開通する 第11代市長に阿部孝夫が就任する</p> <p>2002（平成14）年 向ヶ丘遊園が閉園する 消防局新総合庁舎が完成し、新消防指令センターの稼働を開始する 高速川崎縦貫道路が浮島—殿町間で開通する 行財政改革プランが策定される 川崎駅東口ラ・チッタデッラがオープンする ゼロ・エミッション工業団地が稼働する 鷺沼プールが廃止される</p> <p>2003（平成15）年 かわさき新産業創造センター（KBIC）が開設される 子ども夢パークが開設される 川崎駅北口再開発ビル・DICE（ダイス）がオープンする 鹿島田駅東部地区再開発ビルがオープンする 川崎駅西口再開発ビル・ミュージア川崎がオープンする</p> <p>2004（平成16）年 新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」が策定される 第2次行財政改革プランが策定される 自治基本条例が施行される</p> <p>2006（平成18）年 多摩病院が開設される 区民会議条例が施行される 宮前スポーツセンターが開館する 川崎駅西口ラゾーナ川崎プラザがオープンする</p> <p>2007（平成19）年 パブリックコメント手続条例が施行される 第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会が開催される アートセンターが開館する</p> <p>2008（平成20）年 カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）が発表される</p> <p>2009（平成21）年 川崎国際環境技術展2009が開催される 住民投票条例が施行される 川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2009が開催される 議会基本条例が施行される</p> <p>2010（平成22）年 第64回毎日映画コンクール表彰式が開催される JR横須賀線武蔵小杉駅が開業する 高速川崎縦貫道路が殿町—大師間で開通する</p> <p>2011（平成23）年 多摩スポーツセンターが開館する 日本映画大学が開設される 浮島町と扇島に大規模太陽光発電所（メガソーラー）ができる かわさきエコ暮らし未来館が開館する 藤子・F・不二雄ミュージアムが開館する モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさきが開催される 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区が指定される</p> <p>2012（平成24）年 かわさき宙と緑の科学館がリニューアルオープンする ナノ・マイクロ産学官共同研究施設（NANOBIIC）が開設される</p> <p>2013（平成25）年 殿町地区キングスカイフロントまちびらき記念式が開催される 小杉駅南口西街区川崎市再開発ビルがオープンする 東海道かわさき宿交流館が開館する</p>	<p>1998（平成10）年 長野冬季オリンピックが開催される</p> <p>2011（平成23）年 東日本大震災が起こる</p>

東海道かわさき宿交流館

〒210-0001 神奈川県川崎市川崎区本町1丁目8番地4
電話 044-280-7321 Fax 044-280-7314

展示室開館時間：9:00～17:00

展示室休館日：月曜日 及び 12月29日～1月3日

（月曜日が休日の場合は開館し、その直後の休日でない日が休館日）